



2022年12月

2023年3月期第2四半期 会社説明資料

東証スタンダード:9059

カンダホールディングス株式会社





- 一、私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、
お客様と共に繁栄します。
- 一、私達は、和の精神を大切にし、社員の生活向上を目指します。
- 一、私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。



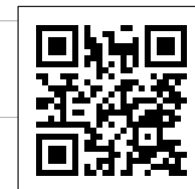
| | | |
|-----------|-------------------------------|----|
| 01 | カンダグループの概要 | |
| | 会社概要 | 5 |
| | 会社沿革 | 6 |
| | グループ構成 | 7 |
| | 拠点ネットワーク | 8 |
| 02 | 事業の概要 | |
| | 事業の特徴 | 10 |
| | 物流サービスメニュー | 11 |
| | 取扱品目別 営業収益構成比率 | 12 |
| 03 | 2023年3月期第2四半期 連結決算概要 | |
| | 2023年3月期第2四半期 決算概要 | 14 |
| | 連結決算推移（営業収益・営業利益） | 15 |
| | （経常利益・当期純利益） | 16 |
| 04 | 株価と配当推移 | |
| | 株価・配当推移 | 18 |
| | 株価指標推移 | 19 |
| | 優待制度と配当利回り | 20 |
| 05 | 2023年3月期の取組み | |
| | 80周年記念プロジェクトチームの編成 | 22 |
| | 新中期経営計画(2022年4月～2025年3月) スタート | 23 |
| | 2023年3月期 経営方針 | 24 |
| | [上期トピックス] 厚木市にて配送業務開始 | 25 |
| | [下期の取組み] 尼崎市にて物流センター業務開始 | 26 |
| | [下期の取組み] 先端技術の導入 | 27 |
| 06 | ESGとBCP | |
| | ESG | 29 |
| | CSRレポート2022 | 30 |
| | 久喜市に社員寮を整備 | 31 |
| | ANAカーゴ様 脱炭素プログラムへの参加 | 32 |
| | 働きやすい職場認証制度 | 33 |
| | BCP | 34 |
| | 安全対策 | 35 |

01

カンダグループの概要



| | |
|--------|-------------------------------|
| 商号 | カンダホールディングス株式会社 |
| 本社所在地 | 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号 |
| 創業 | 1943年11月 |
| 代表者 | 代表取締役社長 原島 藤壽 |
| 資本金 | 17億7,278万4千円 |
| 事業内容 | グループ全体の事業活動を統括・管理する |
| 従業員数 | 連結:2,734名 (2022年9月末日現在) |
| グループ会社 | 27社 (2022年10月末日現在) |
| 市場区分 | 東京証券取引所スタンダード |
| 証券コード | 9059 |





創業期 → 運送業から物流業へ → 総合物流企業を目指して

1943年

東京都神田区内の運送会社
16社の統合により発足



1945年

定期路線便の構築



1963年

出版共同配送開始



1991年

カンダコーポレーション(株)へ
社名変更



1994年

日本証券業協会に
株式を店頭登録



2004年

東京証券取引所
市場第二部へ上場

2006年

流通加工会社
(株)モリコーをグループ化



2009年

持株会社制へ移行
カンダホールディングス(株)へ社名変更

2011年

(株)ペガサスパーセルサービスより
国際宅配事業部門を譲り受け
国際物流事業へ本格的に進出
(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)



2012年

(株)ハーバーマネジメントをグループ化
(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)

タイ バンコクに現地法人を設立

流通加工会社 (株)ジェイピーエルをグループ化



2014年

国際海上貨物混載会社 ニュースターライン(株)と
ベルトランス(株)をグループ化



2015年

日本物流ネットワーク協力会(JLNA) 発足

2017年

低温輸送会社 (株)中村エンタープライズをグループ化



2020年

カンダリテールサポート(株)と
カンダビズパートナー(株)が事業開始



2021年

システム開発会社 (株)ソフトエイジをグループ化



2022年

重量物輸送会社 堀切運輸(株)をグループ化







グループ構成

持株会社



事業会社: 国内物流/システム開発

| | | | | |
|-------------|---------|------------|---|---|
| カンダコーポレーション | ロジメディカル | カンダ物流 | 埼玉配送 | 神協運輸 |
| | ワカバ運輸 | ヤマナシ流通 | アサクラ | 名岐物流サービス |
| | 関西配送 | ロジメック |  |  |
| カンダコアテクノ | ジェイピーエル | | | |
| カンダリテールサポート | モリコー | 中村エンタープライズ | ソフトエイジ | 堀切運輸 |

事業会社: 国際物流

| | |
|-----------------|--------|
| ペガサスグローバルエクスプレス | PGEタイ |
| ニュースターライン | ベルトランス |



機能分担会社

| | | |
|------------|--------------|------------|
| カンダビズパートナー | ケイ・コム | 神田エンタープライズ |
| 神田ファイナンス | カンダハーティーサービス | |



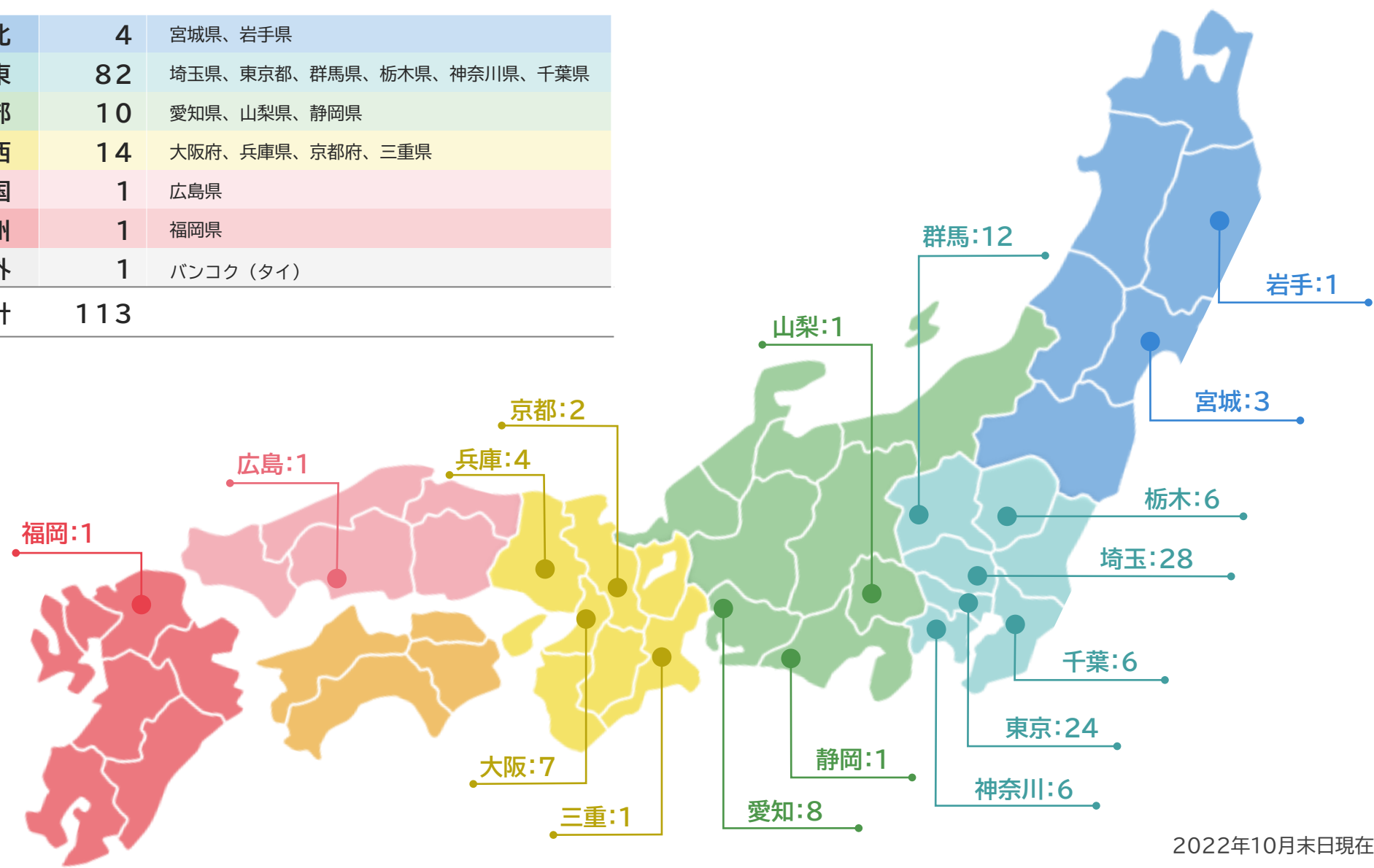
※ PGEインドネシアにつきましては、会社清算に向け手続き中です。

2022年10月末日現在



エリア別 事業拠点数

| | | |
|----|-----|--------------------------|
| 東北 | 4 | 宮城県、岩手県 |
| 関東 | 82 | 埼玉県、東京都、群馬県、栃木県、神奈川県、千葉県 |
| 中部 | 10 | 愛知県、山梨県、静岡県 |
| 関西 | 14 | 大阪府、兵庫県、京都府、三重県 |
| 中国 | 1 | 広島県 |
| 九州 | 1 | 福岡県 |
| 海外 | 1 | バンコク (タイ) |
| 合計 | 113 | |



2022年10月末日現在

02

事業の概要



事業の特徴

■ カンダグループの4つの強み



多種多様な物流サービスを
提供できる国内外グループ体制



3,500社に及ぶお客様との
取引に支えられた裾野の広さ



1つの業種・業態、企業に
偏らない幅広い営業基盤



国内外を一気通貫で結ぶ
物流ネットワーク



物流サービスメニュー

国内物流 (庫内)



物流センター
(在庫型)



物流センター
(通過型)



流通加工



機密文書
保管



社内メール
サービス

国内物流 (輸配送)



共同輸配送



チャーター便



冷蔵、冷凍
輸送



現金、貴重品
輸送(CASHNET)



液体輸送
(ローリー)



建材輸送



介護輸送



宅配



重量物
輸送



廃棄物
収集運搬

国際物流



国際宅配便



航空輸送



海上輸送



越境EC



現地法人

情報システム



データセンター



ソフトウェア開発



システム
ソリューション



WMS

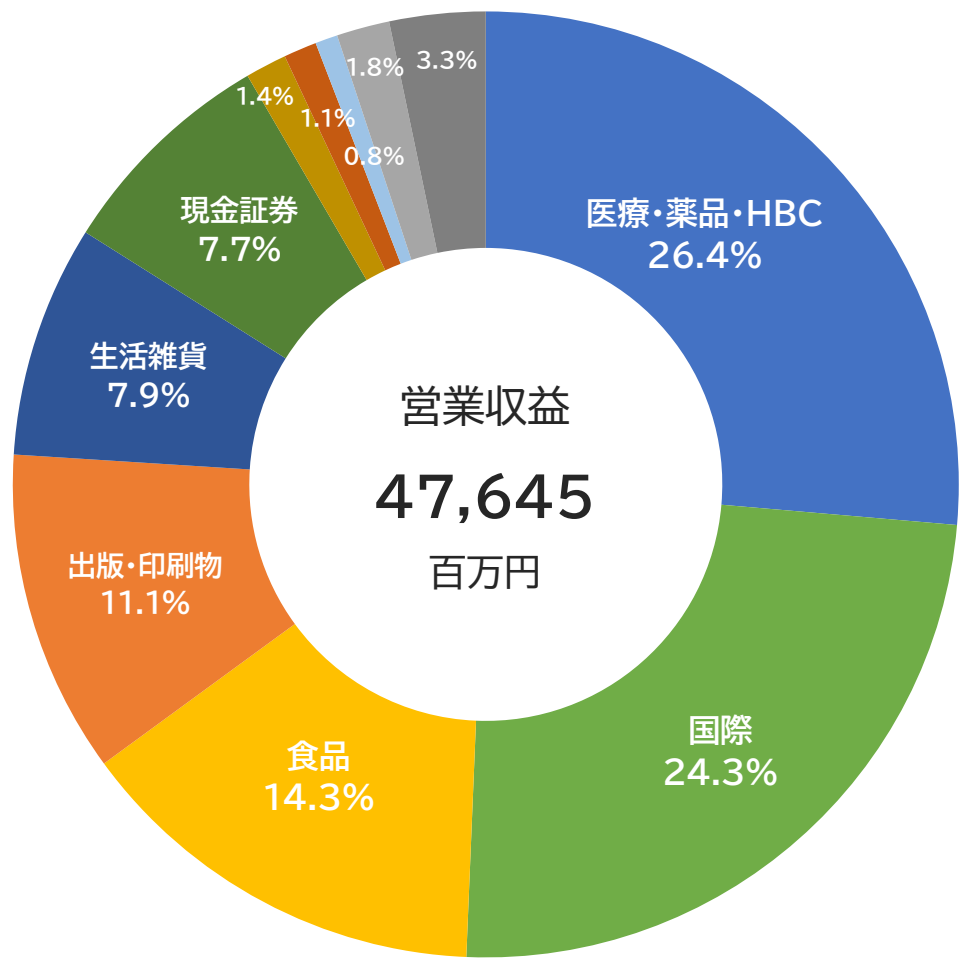


Web EDI



取扱品目別 営業収益構成比率

2022年3月期 構成比率



| | 構成比率 |
|------------|-------|
| 医療・薬品・HBC* | 26.4% |
| 国際 | 24.3% |
| 食品 | 14.3% |
| 出版・印刷物 | 11.1% |
| 生活雑貨 | 7.9% |
| 現金・証券 | 7.7% |
| 環境・福祉 | 1.4% |
| 繊維衣料 | 1.1% |
| システム開発保守** | 0.8% |
| 不動産 | 1.8% |
| その他 | 3.3% |

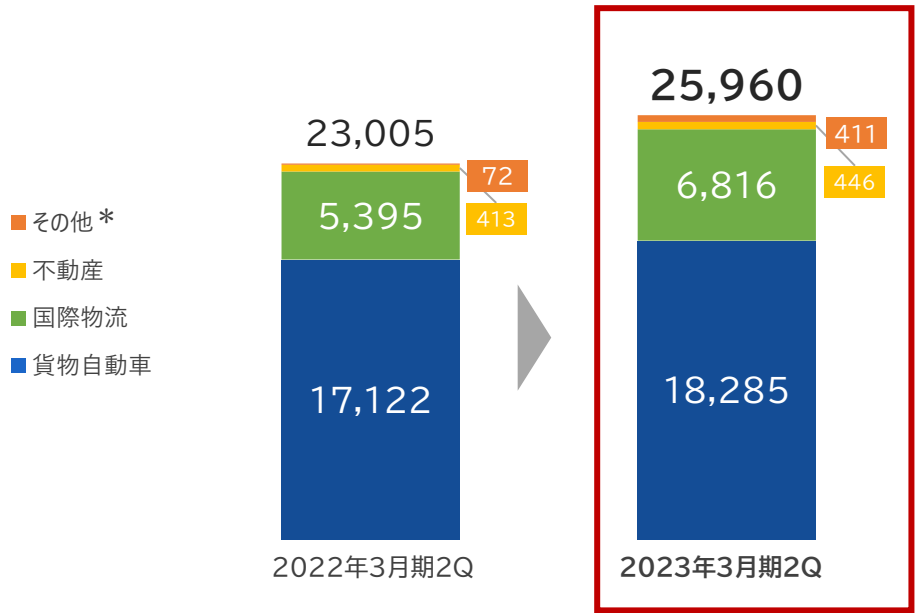
* HBC … Health&Beauty Care の略称で健康食品や美容品などが含まれます。
 ** システム開発保守 … (株)ソフトエイジのグループ化に伴い、新たにセグメント化しております。

03 2023年3月期第2四半期 連結決算概要

■ セグメント別業績(第2四半期累計実績)

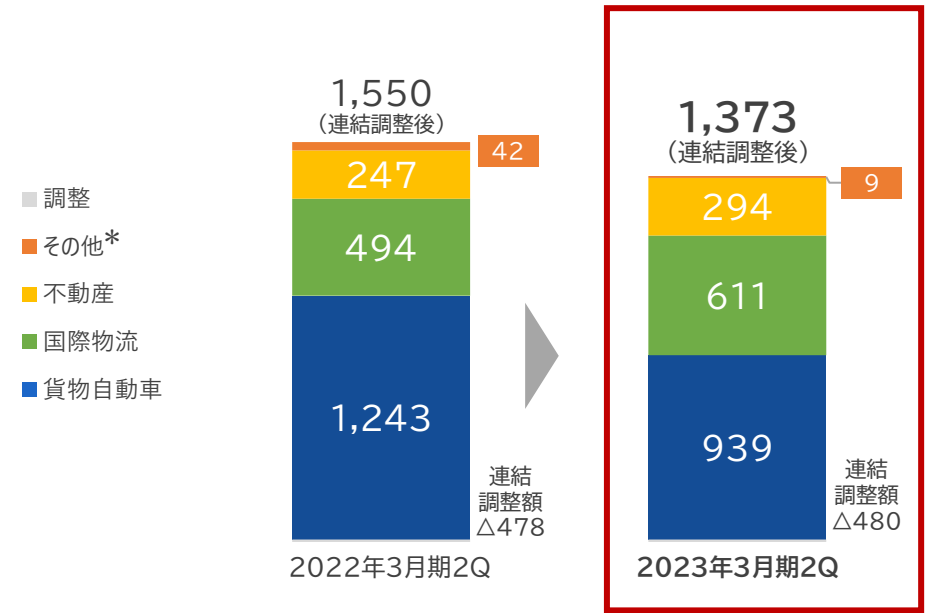
【 営業収益 】

(百万円)



【 営業利益 】

(百万円)



*「その他」セグメント:リース業、コンピュータソフト開発保守業、保険代理店業、部品販売業、太陽光発電業、清掃業、事務代行業の総額です。

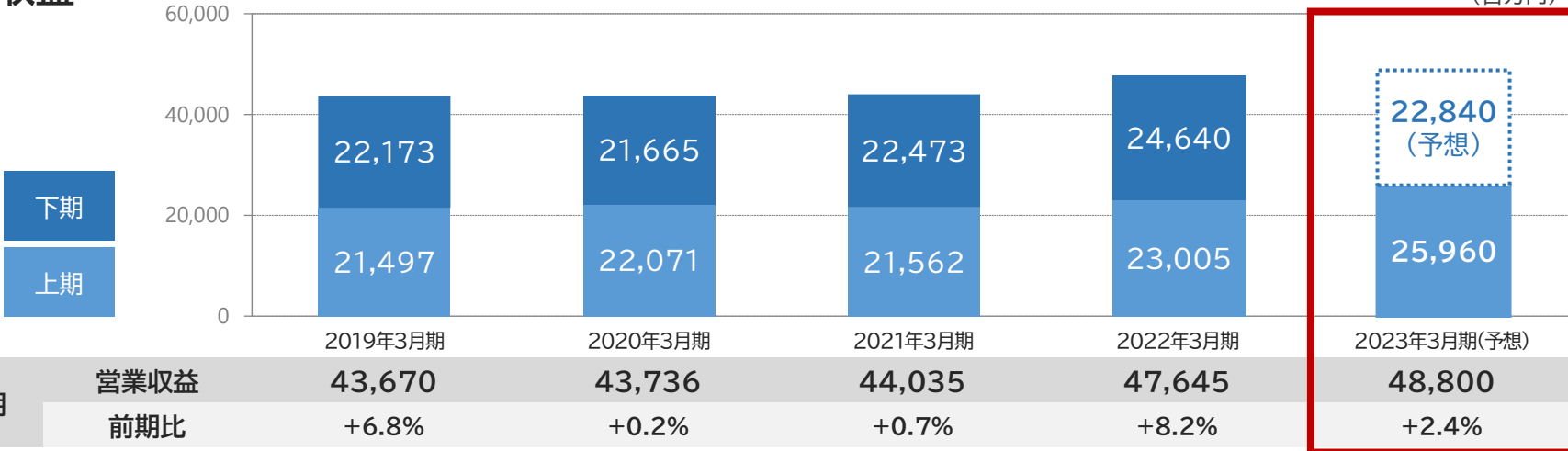
| | | |
|----|---|-------|
| 国内 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品、衛生用品、日用雑貨等の貨物量が引き続き堅調に推移 ・ 燃料価格をはじめとする各種コストの増加 | 増収 減益 |
| 国際 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各国の経済活動制限緩和等により国際輸送需要が特需的に増加 ・ コンテナ不足等、輸送インフラの供給不足により運賃高騰が継続 | 増収 増益 |



連結決算推移

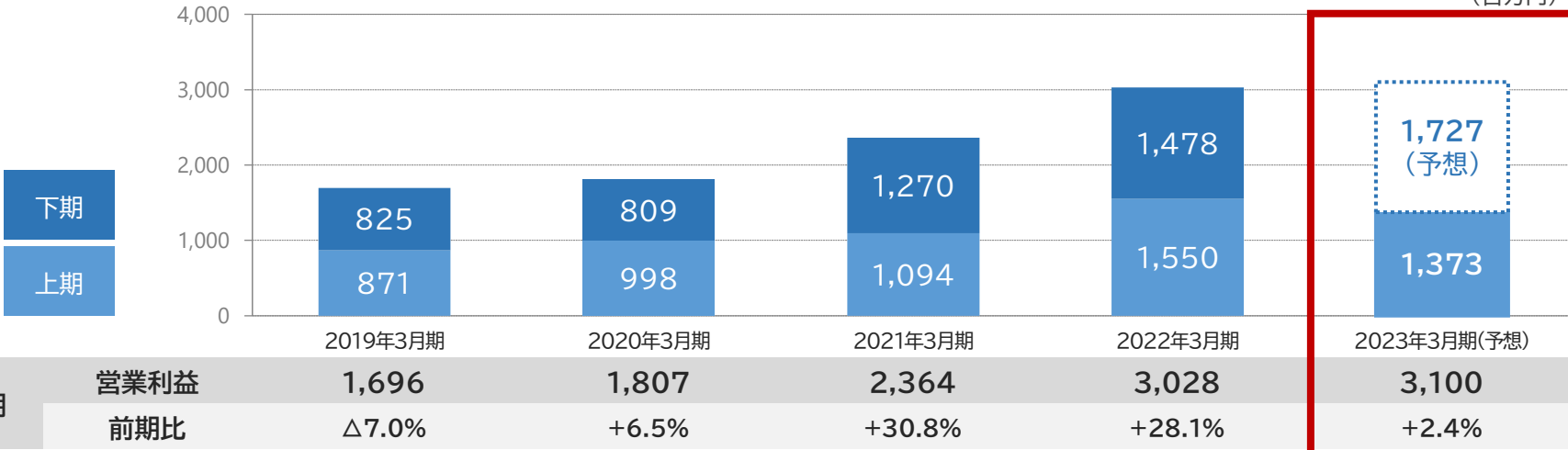
営業収益

(百万円)



営業利益

(百万円)

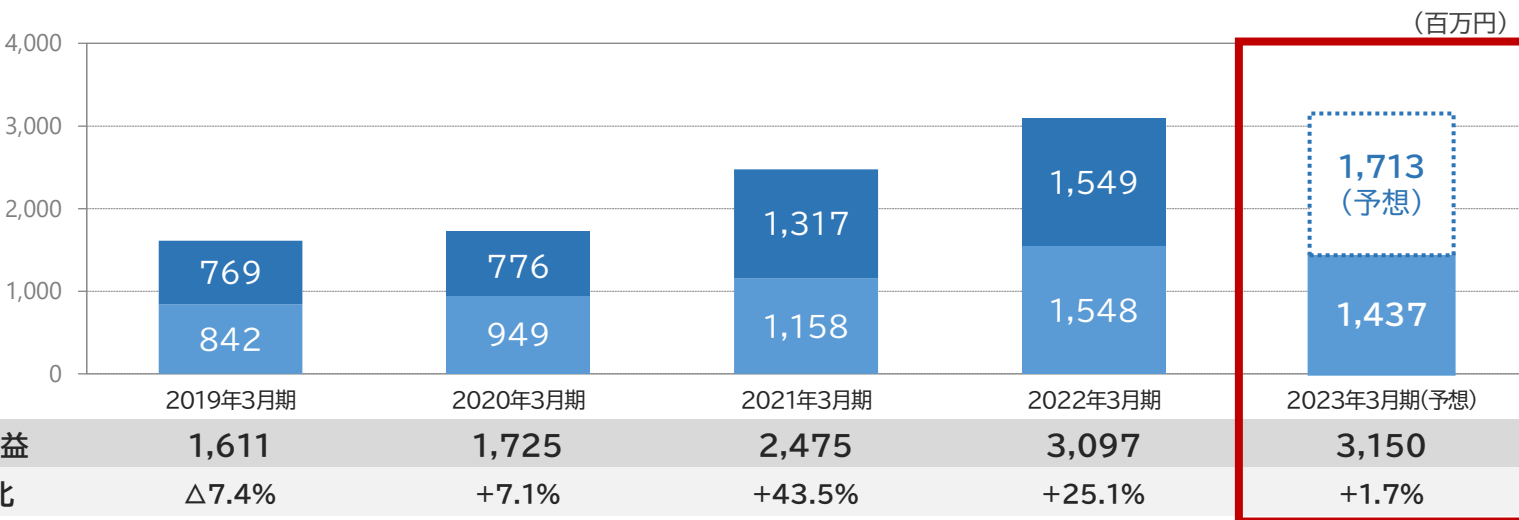




連結決算推移

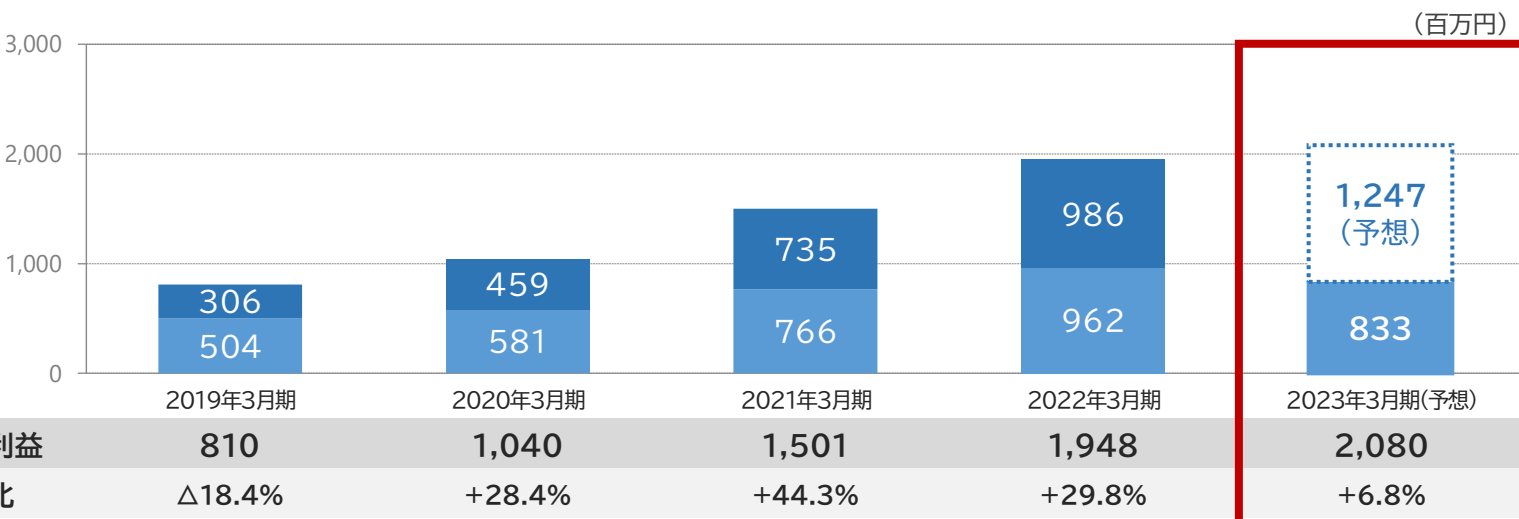
経常利益

下期
上期



当期純利益

下期
上期



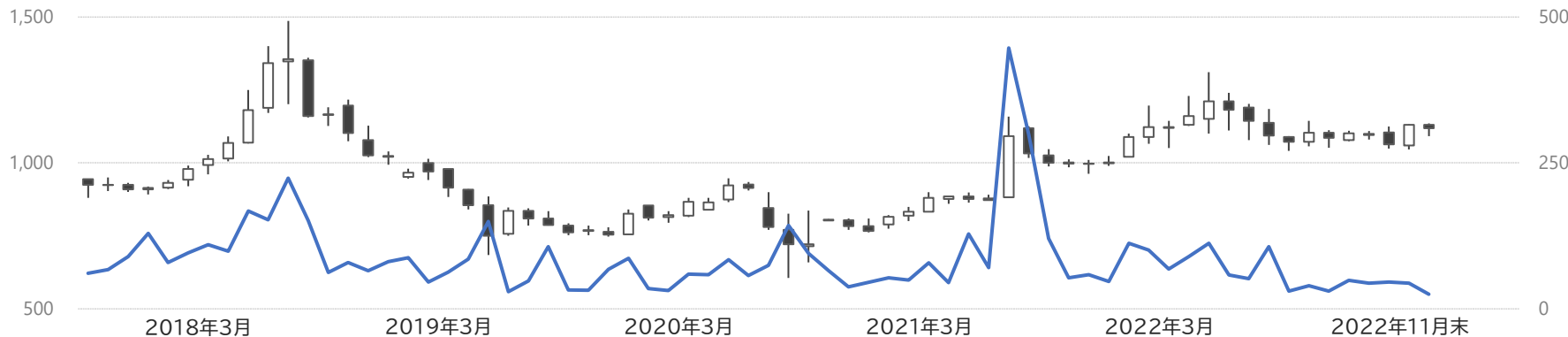
04

株価と配当推移

■ 株価・出来高

左軸：株価チャート(円)

右軸：— 出来高(千株)

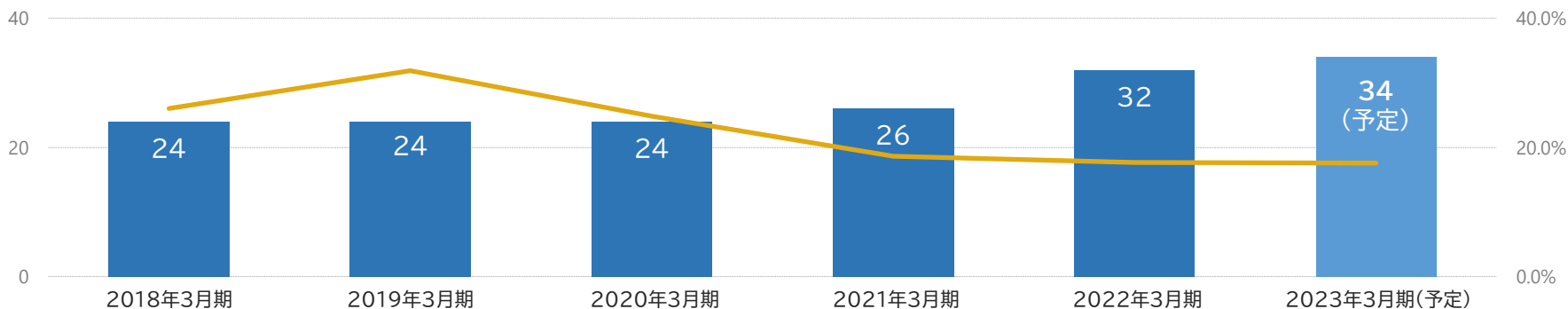


| | | | | | | |
|--------|--------|------|------|--------|--------|--------|
| 株価(終値) | 1,160円 | 787円 | 721円 | 1,032円 | 1,093円 | 1,118円 |
|--------|--------|------|------|--------|--------|--------|

■ 配当・配当性向

左軸：■ 1株あたり年間配当(円)

右軸：— 配当性向(%)

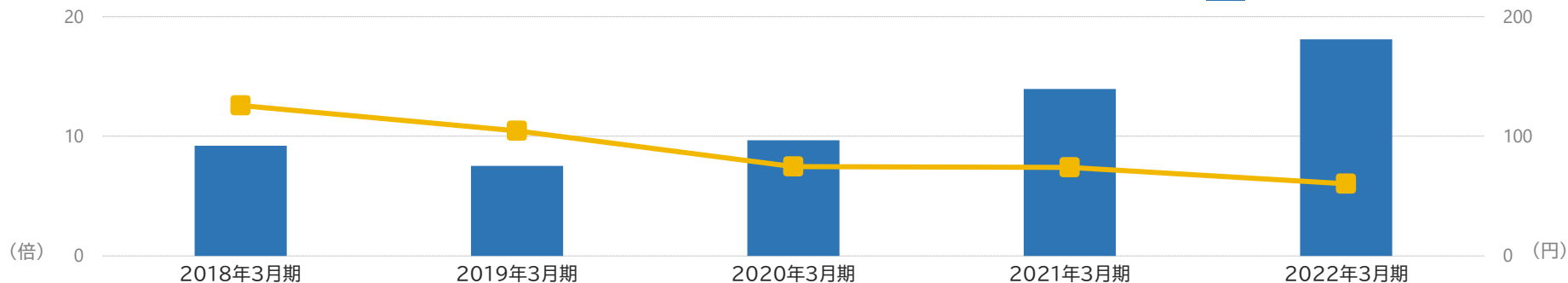


| | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 年間配当/株 | 24円 | 24円 | 24円 | 26円 | 32円 | 34円 |
| 配当性向 | 26.0% | 31.9% | 24.8% | 18.6% | 17.7% | 17.6% |

PER・EPS

左軸: PER(株価収益率)

右軸: EPS(1株あたり純利益)

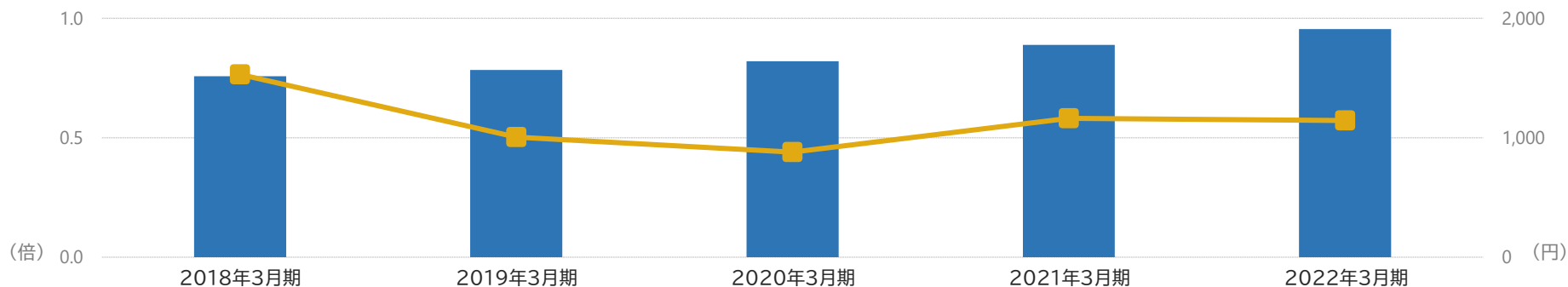


| | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|---------|---------|
| PER | 12.6倍 | 10.5倍 | 7.5倍 | 7.4倍 | 6.0倍 |
| EPS | 92.21円 | 75.27円 | 96.65円 | 139.48円 | 181.03円 |

PBR・BPS

左軸: PBR(株価純資産倍率)

右軸: BPS(1株あたり純資産)



| | | | | | |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|
| PBR | 0.77倍 | 0.50倍 | 0.44倍 | 0.58倍 | 0.57倍 |
| BPS | 1515.78円 | 1566.44円 | 1639.26円 | 1776.82円 | 1909.08円 |

株主優待制度

| 保有株式数 | 株主優待 |
|----------|---------------|
| 100株以上 | 図書カード 1,000円分 |
| 500株以上 | 図書カード 2,000円分 |
| 1,000株以上 | 図書カード 3,000円分 |
| 2,000株以上 | 図書カード 4,000円分 |
| 3,000株以上 | 図書カード 5,000円分 |

対象:毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主様



配当利回り

【利回り計算】

単元株100株を、株価1,118円[※]で購入頂くと… ※ 2022年11月30日終値

配当3,400円 + 株主優待1,000円 ▶ 実質配当金額4,400円 **配当利回り 3.94%**

05

2023年3月期の取組み

2023年に迎える【創立80周年】に向けて社内プロジェクトチームを編成いたしました。

Anniversary

2023年11月 おかげさまで創立80周年を迎えます。

これは日頃よりステークホルダーの皆様の支えがあったることと、心より感謝申し上げます。

来年、皆様とともにお祝いができるようプロジェクトチームを編成し、様々なイベントを企画してまいります。

[過去の実績]

- ・ 記念配当（株主還元）
- ・ 地方自治体への車椅子贈呈（地域社会貢献）
- ・ テーマパークに従業員の家族を招待し、記念式典を開催
- ・ 従業員への防災グッズ配布 など



周年ロゴ



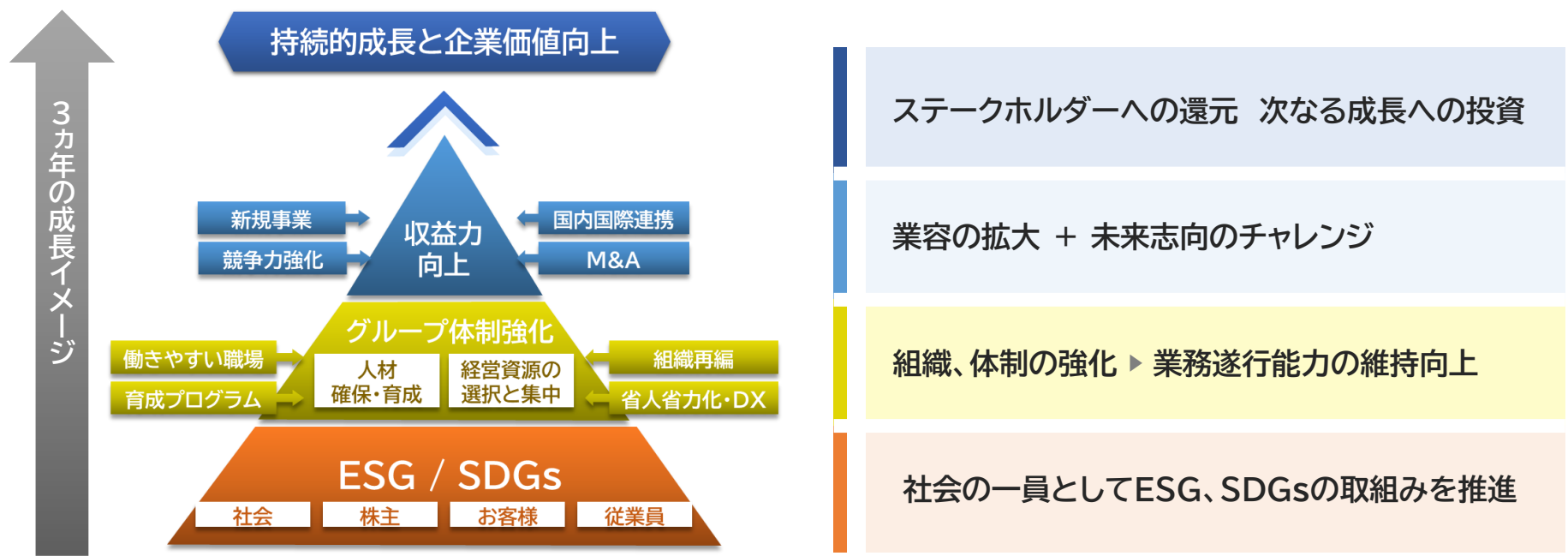
国内物流を支えるトラックと、国際物流を担うペガサスグローバルエクスプレス社のペガサスの羽をモチーフに、物流企業として、未来に向かって羽ばたいていくイメージで作成いたしました。

- ▶ この先も社会に必要とされる企業を目指して、ステークホルダーの皆様とともに歩んでまいります。
- ▶ 今後とも変わらぬご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



2022年4月より新たな中期経営計画をスタートさせております。

Let's create the Future 未来を切り拓こう — 80年の思い 未来へつなぐ —



計数計画サマリー

❖ おかげさまで80周年 ❖ (百万円)

| | 2022年3月期 実績 | 2023年3月期(1年目) 計画値 | 2024年3月期(2年目) 計画値 | 2025年3月期(3年目) 計画値 |
|------|----------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 営業収益 | 47,645 | 48,800 | 50,000 | 52,000 |
| 経常利益 | 3,097 | 3,150 | 3,250 | 3,350 |

未来を見据え 新たな挑戦をしよう

1. 営業力の強化

- ・ 提案型営業の強化
- ・ 食品業務の拡大
- ・ 既存顧客との深耕
- ・ 空きスペースの満床化
- ・ M&Aの促進

2. 現場力の強化

- ・ 収益性の向上
- ・ 社員の採用促進
- ・ WMSの刷新
- ・ 物流DXの推進

3. コンプライアンスの強化

- ・ グループ管理、ガバナンスの強化
- ・ SDGs、ESG経営への取組み強化
- ・ 法務関連部門の強化
- ・ 不動産事業の管理機能強化
- ・ 労働時間管理の徹底
- ・ 働きやすい職場認証制度登録の推進
- ・ ホワイト物流宣言の推進
- ・ 就業規則等、諸規定の改定
- ・ 電子契約書の導入

4. 事故防止の強化

- ・ 運行管理体制の強化とインフラ整備
(IT点呼の実施 / 点呼ロボットの導入と点呼カメラの活用)

5. 教育の強化

- ・ 次世代の幹部候補育成に向けた教育強化
- ・ 新任管理職の基本教育強化





2022年6月 神奈川県厚木市にてペット用品のメーカー共配業務を開始しております。



| | |
|------|------------------------|
| 名称 | ロジメディカル 厚木営業所 |
| 所在地 | 神奈川県厚木市 |
| お客様 | ペット用品卸様 |
| 業務範囲 | 輸配送業務（仕入先集荷/拠点間/量販店向け） |

国土交通省HP:物流総合効率化法の認定状況ページより

➡ 本取組みにおける効果（計画値）

車両台数、走行距離削減により
CO2排出量 約58%削減

当社営業所の併設により
手待ち時間 約65%削減

- ▶ 本営業所は、お客様と当社が協業してペット関連商材のメーカー様の物流負担と環境を改善することを目的とし、「物流総合効率化法」における流通業務総合効率化事業として、国土交通省より認定を受けております。
- ▶ 今後もお客様とともに発展すべく、最適な物流を提供してまいります。

[下期の取組み] 尼崎市にて物流センター業務開始

■ 2022年10月 美容ディーラー様 西日本物流センターの3PL業務が開始いたしました。



| | |
|------|------------------|
| 名称 | 中村エンタープライズ 尼崎営業所 |
| 所在地 | 兵庫県尼崎市 |
| お客様 | 美容ディーラー様 |
| 業務範囲 | 理美容品のDC及び配送業務 |



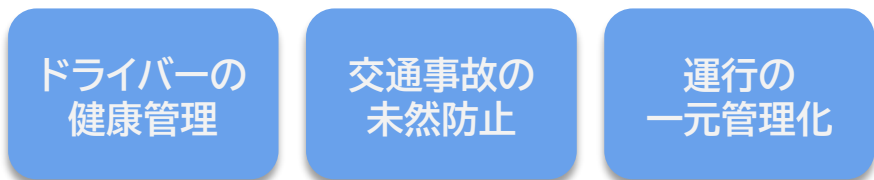
- ▶ 既存の東日本物流センターに続いて、西日本物流センターの業務についても受託することになりました。
- ▶ 今後もお客様の物流を包括的に支援すべく、業務範囲の拡大に取り組んでまいります。

■ 先端技術による次世代型ロジスティクスの構築に向けて実装研究に取り組んでおります。

[安全運転支援システムの試験導入]



- ✓ ドライバーの健康状態を測定しAIで評価
- ✓ 運行中の危険な状況をリアルタイムで検知・通知
- ✓ 管理者は可視化されたデータを端末で一元管理



▶ 車両を配置する2営業所で試験導入中

[AMR(自律走行搬送ロボット)の導入検討]



- ✓ ピッキング業務における作業支援ロボット



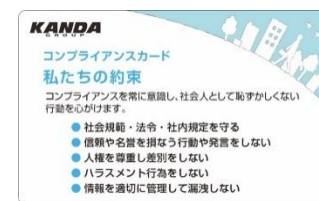
▶ 今期中の導入に向けて準備を進めております

- ▶ 人手不足の解消や働きやすい職場環境の整備に対して非常に有効であると期待をしております。
- ▶ 上記以外にも、省人省力化機器の導入や事務作業のシステム化等について検討を進めてまいります。

06

ESGとBCP

■ 物流事業を通じて社会の課題解決へ向けた活動を推進してまいります。



環境 [Environment]

- ・ 低燃費車への代替及びEV車試験導入
- ・ 物流施設の屋根を利用した太陽光発電
- ・ 低炭素型本社ビルの竣工
- ・ グリーンエコプロジェクトへの参加

社会 [Social]

- ・ 交通事故発生防止に向けた取組み強化
- ・ 特例子会社による障がい者雇用促進
- ・ 女性の活躍推進
- ・ 事業所内保育施設設置

企業統治 [Governance]

- ・ コーポレートガバナンスの改定
- ・ コンプライアンスの徹底
- ・ リスクマネジメント
- ・ BCP/BCMの構築



当社のCSR活動をESGの観点からまとめた「CSRレポート2022」を発行しております。



- ▶ 本レポートは毎年8月を目途に発行し、当社ホームページ上にて開示しております。
- ▶ これからも「物流を通じて社会の発展に貢献します」の理念のもと、積極的なCSR活動に取り組んでまいります。



久喜市に社員寮を整備

2022年4月 2棟目となる社員寮を埼玉県久喜市に整備いたしました。



| | |
|------|-------------------|
| 名称 | 久喜社員寮 |
| 所在地 | 埼玉県久喜市 |
| 戸数 | ワンルーム × 9部屋 |
| アクセス | JR/東武線 久喜駅より徒歩約8分 |



- ▶ 当社の各拠点から近く、またターミナル駅へのアクセスも容易な利便性の高いエリアに位置しております。
- ▶ 新入社員の生活基盤を支え、人材確保につながるよう活用してまいります。

■ 2022年9月 取引先であるANAカーゴ様が推進する「脱炭素プログラム」に参加いたしました。

【 SAF Flight Initiative For the Next Generation 】

ANAグループによるカーボンニュートラルへの取組みの一環で、航空輸送に関わるステークホルダーが協力し、持続可能な航空燃料「SAF」を活用・普及させ、CO2排出量の削減を目指すプログラムです。



SAF (Sustainable aviation fuel) とは…

バイオマスや廃食油、排ガスなど原材料の生産・収集から、製造、燃焼までのライフサイクルでCO2排出量を従来燃料より約80%削減できる持続可能な航空燃料です。

- ▶ 本プログラムへの参加によって、10トンのCO2排出量が削減された計算となります。
- ▶ 今後も、自社だけでなくお取引先様の取組みにも積極的に参加し、持続可能な社会の実現に向け貢献してまいります。

■ 本認証制度においてグループの24営業所で「一つ星認証」を取得しております。

【認証取得状況】

カンダコーポレーション(株) 4営業所 / (株)カンダコアテクノ 7営業所

カンダリテールサポート(株) 4営業所 / カンダ物流(株) 8営業所 / (株)名岐物流サービス 1営業所

【一つ星認証の審査要件】

| 認証項目 | 判定内容（一部抜粋） |
|----------------|---------------------------|
| 1. 法律遵守 | 労働基準法、36協定等の違反有無 |
| 2. 労働時間・休日 | 長時間労働の管理、休日取得への取組み状況 |
| 3. 心身の健康 | 健康診断の実施、ハラスメント相談窓口の設置状況 |
| 4. 安心・安定 | 定年延長制度の有無、時間外手当の支払い状況 |
| 5. 多様な人材の確保・育成 | 運転免許取得支援制度の有無、女性運転手の働きやすさ |



「働きやすい職場認証制度」とは・・・

自動車運送事業におけるドライバー不足の解消に向けて国土交通省、厚生労働省が推進する取組みで、トラック運転手の労働条件・労働環境を認定団体が公正に評価し、優良な職場環境の運送事業所として認証を受けることができる制度です。

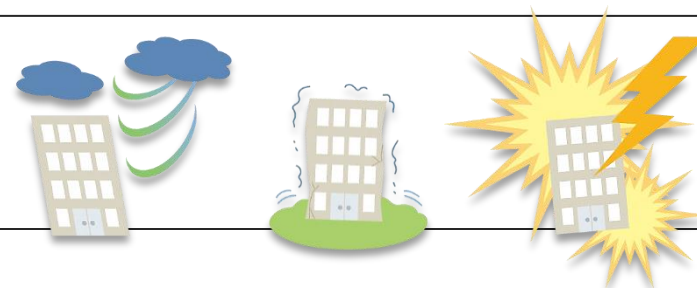
※「一つ星」「二つ星」「三つ星」の3段階認証が計画され、現在は「一つ星」のみの取得が可能。年内に「二つ星」の申請受け付けが開始されます。

- ▶ この認証を、日頃から取組む「働きやすい職場環境の整備」の指標として、有効に活用してまいります。
- ▶ 間もなく開始される「二つ星」認証につきましても、取得に向けて申請準備を進めております。

Ⅰ 災害への備え

【基本方針】

- ・ 従業員とその家族の安全・安心を最優先に活動します。
- ・ 施設、設備についての予防措置及び支援物資の確保を行います。
- ・ 事業存続及び早期復旧を目指した体制を確立します。
- ・ 地域社会の一員として貢献します。
- ・ 従業員の定期的な教育訓練と計画の定期的な見直しを行います。



〔食料・飲料水の備蓄〕



災害対策本部となる本社事務所では本社従業員数の5日分に当たる食料・飲料水を備蓄しております。

〔燃料確保〕



インタンクに燃料を備蓄している他、提携企業と燃料の優先供給に関する協定を締結しております。

〔データバックアップ〕



情報資産を守るため、データのバックアップセンターを関東地区に設置しております。

〔緊急時連絡体制〕



電話回線が不通になる事態に備え、全国15の営業所に衛星携帯電話を設置しております。

〔非常用自家発電設備〕



停電等のリスクを鑑みて一部の物流施設では非常用自家発電設備を設置しております。

〔高耐震施設〕



災害対策本部となる本社ビル及び自社物流施設は、建築基準法の規定を上回る耐震性能で建築しております。

▶ 予想される重大な災害等(自然災害・感染症等)により甚大な被害が発生した場合においても、物流サービスの継続的な提供により社会貢献を行うことを目的として『BCP基本方針』を定め『事業継続計画』を策定しております。

2023年3月期 運輸安全マネジメント

基本的な方針

- ① 安全と生命は全てに優先する
- ② 安全・確実・迅速の業務遂行
- ③ 安全管理体制と安全教育体制の強化

2023年3月期安全対策費用

予算)7,500万円 (2022年3月期実績 6,000万円)

2023年3月期 活動予定(一部抜粋)

- ・Gマーク認証の新規、継続取得
36事業所で認定 ※2022年3月末日現在
- ・運行管理者、補助者研修会の実施
- ・運行管理者試験対策(内外講習)
- ・初任運転者及び高年齢運転者向け実車研修の実施
- ・ドローン空撮による実技判定(癖、習慣)に対する指導の実施
- ・一般適性診断の計画受講の実施(K-2型、クラウドNF診断)
- ・ドライブシミュレーターによる個人カウンセリングの実施
- ・点呼補助ロボット、点呼確認カメラを活用した実施確認の強化
- ・職場環境改善リスクアセスメント研修の実施
- ・ドライブレコーダーを活用した安全教育の実施
- ・動画KYTを活用した危険感受度向上教育の実施
- ・SAS検査や脳ドック検査及び生活習慣病予防の重要性指導
- ・最新技術車両を導入し安全を最優先したエコドライブの実施



本資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等について記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取り巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらすことがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。

 **カンダホールディングス株式会社**

お問合せ先: カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話: 03-6327-1811(代) FAX: 03-6327-1800

ホームページ: <https://kanda-web.co.jp/>

e-mail: hd-soumu@kanda-web.co.jp